

## 第37回 夕張川流域会議 議事要旨

日時：令和元年7月26日（金）13：30～15：30

意見交換：南幌町ふるさと物産館「ビューロー」会議室



### <主な意見>

#### <再樹林化対策について>

・泥炭を敷き均すという方法、表土を漉き取り再度戻す方法等を検討し、ベストな方法を選びたいと考えている。

#### <近頃ヤツメウナギの生息状況について>

ヤツメウナギ減少は、生息場所の減少と川の直線化が大きい。幼生が川で生活できる環境をつくるのが一番良い。

・樹林化で滲筋が固定化され川幅が狭くなり、河床低下している。これはヤツメウナギだけでなく他の魚も減少する原因になる。

・河川整備により、暮らしの豊かさは得られた。これからの川づくりは、人の心を豊かにするもの、いろいろな生き物が利用できる川となるように検討してほしい。

#### <樹木伐採について>

・3カ年で配布資料の場所と幌向川と清真布川を計画している。上流の川利用がある区間等も検討したいと考えている。

・今回の樹木伐採箇所は、再樹林化を防ぐために抜根し一部掘削や整地をしていく。その工事を3年で行う。

・今後の掘削区間については、具体的に冠水頻度を高め多様性のある河岸をどうつくるか、川利用にはどういう形が望ましいのか、議論頂きたいと考えている。

#### <その他>

・整備計画策定時、どのような河川断面にするかが大きな課題だったが、単一ではない河川断面にしていくとのことで非常に嬉しく思っている。

・ショウドウツバメ営巣地もヤナギ林を全部伐採し、河原をつくることで営巣地を守ることができた。今後の川づくりの参考になる場所である。

・湿原の再生は、河川断面を上手に切り、水が動くことで河川空間の中に湿原を再生することが大切ではないか。

・ハサンベツ里山計画実行委員会は、岩見沢市、南幌町の住民と協力しながら、流域で湿原再生を進めていきたい。

・河川事務所には魚道の整備、川学習のフィールドづくりで協力してもらっているので感謝している。

・河畔林伐採の樹木選定だが、上流には湿地性のハンノキ群落がある。伐採計画が上流へ行くのであれば、そういう歴史的価値のある木の保全は考えたい。

・エゾニワトコは、営巣する鳥類がたくさんいるので、営巣木として残したようだ。

・一律に何m間隔で切る必要があるのかどうか。やはりその場所ごとにその生態系をよく見ながら決めていく必要がある。

#### <サケの産卵床、雨煙別川の状況等について>

・河川事務所に魚道を造って頂いたので、毎年栗山町民を主体に魚類調査をしている。夕張川では、馬追橋下流等、限られた場所でしか産卵ができていない。

・湛水区域には水位低下で土砂が溜まる場所があるが、その部分が早瀬になり伏流水が入り湧出するところがサケの産卵場だ。

・雨煙別川は、落差工があるため濁水では全く上れない。増水すれば雨煙別学校まで遡上し、

産卵床数が 32 カ所ぐらいになる。葉散別川は、河床の礫が非常に小さいので孵化しても浮上できない恐れがある。

・雨煙別川の万年橋には、川を見る踊り場が設けてある。「かわまちづくり」もここからスタートすると聞いているがフットパス、散策路もここからできるのではないか。

・樹林化している部分を従来の川幅まで掘削して砂利を投入すれば水の力で平瀬ができる。水が浸透する部分はサクラマス産卵場に、水が湧出する部分はサケ産卵場になる。

#### <各委員からの意見>

・河川法改正に沿って、治水、利水、環境が調和した川ができればよい。整備計画を策定する際に話し合ったことが実現してきている。行政と市民とが一緒になって良い川をつくって頂きたい。

## 第 37 回 夕張川流域会議

日 時：令和元年 7 月 26 日(金) 13：30～15：30

意見交換：南幌町ふるさと物産館「ビューロー」会議室

### 次 第

#### 1. 開 会 13：30

挨拶：江別河川事務所長

#### 2. 議 事

##### 1) 事務局からの連絡事項

- ・昨年度（H30）の会議の経過について
- ・今後に向けて

##### 2) 自治体・各団体からの連絡事項

- ・「栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会」
- ・「NPO 法人ふらっと南幌」
- ・「NPO 法人雨煙別学校」

##### 3) その他

- ・その他

#### 3. 閉 会 15:30

## 「第37回夕張川流域会議」 委員出席者名簿

委員御氏名	所 属	備 考	出 欠
妹尾 優二	流域生態研究所長		○
飯田 修久	水土里ネット由仁(由仁土地改良区)理事長		○
諸橋 淳	おっ鳥クラブ		○
上野 千春	栗山オオムラサキの会		○
高橋 慎	栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会実行委員長		○
久保 和英	河川愛護団体 リバーネット21ながぬま		×
千葉 光弘	夕張川なんでも探検隊		×
菊池 孝太	社団法人 栗山青年会議所		○
杉本 伸二	夕張川自然再生協議会 事務局長		○
近藤 長一郎	ふらっと南幌 代表理事		○
小松 憲幸	江別市 建設部土木事務所治水課長	代理出席：矢幅 拓也 (同 治水係長)	○
尾暮 靖志	南幌町 都市整備課長		○
柏 雅美	長沼町 都市整備課長		○
牧 孝信	岩見沢市 建設部 事務担当次長		○
岩花 司	由仁町 建設水道課長		○
片山 伸治	栗山町 建設課 建設総括兼課長		○
熊谷 修	夕張市 土木水道課長		×
中條 悟	北海道札幌建設管理部 長沼出張所長		○
八幡 和則	北海道札幌建設管理部 岩見沢出張所 施設保全室長		○
久野 俊一	夕張川ダム総合管理事務所長		○
林 利行	江別河川事務所長		○

※敬称略

委員出席者合計＝ 18名

# 「第 37 回夕張川流域会議」座席表

スクリーン

プロジェクター

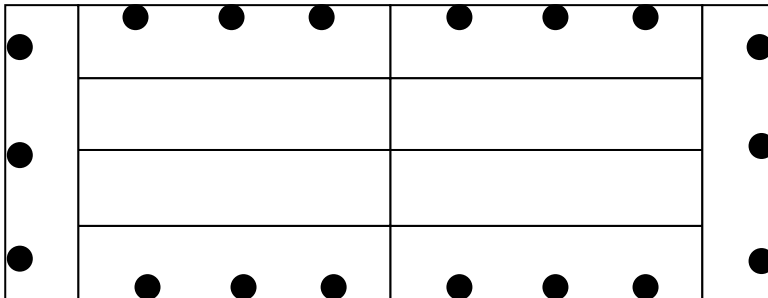
P  
C

栗山町建設総括兼  
 課長 **片山 伸治**  
 由仁町建設水道課  
 課長 **岩花 司**  
 水士里ネット由仁  
 理事長 **飯田 修久**  
 岩見沢市建設部事務担当  
 次長 **牧 孝信**  
 長沼町都市整備課  
 課長 **柏 雅美**  
 北海道札幌建設管理部  
 岩見沢出張所施設保全室  
 室長 **八幡 和則**

北海道札幌建設管理部  
長沼出張所  
所長 **中條 悟**

南幌町都市整備課  
課長 **尾暮 靖志**

「ふらっと南幌」  
代表理事  
**近藤 長一郎**



江別市建設部土木事務所  
治水係長

**矢幅 拓也**

「おっ鳥クラブ」

**諸橋 淳**

「社団法人 栗山青年会議所」

**菊池 孝太**

「夕張川自然再生協議会」  
 事務局長  
**杉本 伸二**  
 「栗山オオムラサキの会」  
**上野 千春**  
 「栗山町ハサンベツ里山計画  
 実行委員会」実行委員長  
**高橋 慎**  
 江別河川事務所  
 所長 **林 利行**  
 夕張川ダム  
 総合管理事務所  
 所長 **久野 俊一**  
 流域生態研究所  
 所長 **妹尾 優二**

(事務局)

--	--	--

--	--	--

--	--	--

# 「夕張川流域会議」規約

## (名称)

第1条 本会議を、「夕張川流域会議」（以下「流域会議」という）と称する。

## (目的)

第2条 流域会議は、夕張川のあるべき姿を見据え、流域における川づくりのあり方について意見交換し、今後の川づくりに生かしていくものとする。

## (組織)

第3条 流域会議は座長、副座長及び委員をもって組織する。

2 委員は、前年度委員からの引継ぎを基本とし、江別河川事務所長が委員名簿を作成する。

3 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

4 座長、副座長は委員の互選により選出する。

5 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるときには、副座長がその職務を代行する。

6 流域会議の意見交換や勉強会等のテーマによっては、関係する団体や講師の招へい及びオブザーバーの参加を認める。

## (議事等)

第4条 流域会議は、座長が招集する。

2 座長は、流域会議の運営、審議を総括する。

## (事務局)

第5条 流域会議の事務局は、江別河川事務所と夕張川ダム総合管理事務所管理課に置く。

2 事務局は、流域会議の運営に必要な事務を処理する。

## (雑則)

第6条 この規約に定めるもののほか、流域会議の運営に関する必要な事項は、座長が流域会議に諮り定める。

## (附則)

この規約は平成19年10月4日をもって成立適用する。

## (附則)

この規約は平成23年2月17日をもって成立適用する。

## (附則)

この規約は平成28年2月10日をもって成立適用する。

## (附則)

この規約は平成30年7月25日をもって成立適用する。